高野山大学 連続講座　概要・日程一覧

開講期間 平成30年8月21日（火）～9月19日（水）

【受講料】1講座（90分×2回）4,000円 ※ただし以前の連続講座受講者の中で修了証をお持ちの方は全講座500円引

講座① 《テーマ》漢文で読む空海と『論語』との関係

講師 南　昌宏　定員 40名

漢文の読解を主とした講義を行う。弘法大師空海と『論語』との関わりについて、実際の文章に即して考える。空海は儒教をどのように理解していたのか。空海はどのような『論語』を読んでいたのか。あわせて、漢文訓読の技法について解説する。
漢文をまったく読めない方でも、受講できます。ただし、高校の漢文教科書を朗読できる程度の学力があれば、よりよく理解できると思います。

日程　第１回 8/21 (火) 11:00～12:30　第２回 8/21 (火) 13:20～14:50

講座② 《テーマ》心身の合一 －自己のいのちと丁寧に向き合う－

講師 森崎 雅好　定員 20名

弘法大師は「即身成仏」を説かれました。「即心」ではなく、「即身」とされたのは、私たちが寿命のかぎり、「こころ」と「からだ」を使って動き続けるいのちある生き物であることを重視されていたからではないかと思います。本講義では、心身の調和を目的とした新しい心理療法である「動作療法」を体験していただき、臨床心理学と真言密教の教えを織り交ぜながら自己のいのちと丁寧に向き合う方法を学びます。

日程　第１回 8/28 (火) 13:20～14:50　第２回 8/28 (火) 15:00～16:30

講座③ 《テーマ》仏教・密教観法入門

講師 トーマス・ドライトライン　定員 40名

仏教と密教に伝わる伝統的な観法（瞑想法）の代表的なものについての講義と実践。第1回は、仏教における観法の意義と重要性、特に数息観の内容について講義をして、その実践を体験する。第2回は、真言密教に伝わる観法の理念と種類、特に月輪観と阿字観などについて講義をして、その実践を体験する。
仏教・密教の実践の理論と実践に興味がある方を歓迎します。

日程　第１回 8/29 (水)13:20～14:50　第２回 8/29 (水) 15:00～16:30

講座④ 《テーマ》漢字の魅力（3） －『説文』を楽しく味わおう！－

講師 野田　悟　定員 40名

前回は、漢字字形の構成および漢字用法に関する六書を学んだ。2年ぶりであるが、更に発展して、『段注』と比較し、小篆より古い文字を考察しながら、『説文解字』の本文〔部目（部首）を中心に〕順番に読んでいき、古文字に触れていただきたい。当時の思想や時代背景を含めた出来るだけ広い理解を期待したい。2週に渡った講座にし、小篆にも触れていただきたい。
※テキスト『説文解字』中華書局（2,200円）の購入が必要です。

日程　第１回 8/30 (木) 15:00～16:30　第２回 9/6 (木) 15:00～16:30

講座⑤ 《テーマ》開闢（かいびゃく）神話について

講師 山脇 雅夫　定員 40名

宗教の四大要素の一つに教義（教え）があります。典型的なものとして世界の始まりについての教えが挙げられます。現代では、宇宙論のビッグバン仮説のようなものもありますが、世界の始まりについての神話には単なる科学的説明とは違う要素が認められます。この講座では代表的な開闢（かいびゃく）神話として旧約聖書の創世記と古事記の国産み神話を取り上げ、それがどのような特色を持つものなのかを紹介します。そのことによって宗教の教義というものの特徴を考察します。

日程　第１回 9/6 (木) 11:00～12:30　第２回 9/6 (木) 13:20～14:50

講座⑥ 《テーマ》インドにおける変化観音

講師 德重 弘志　定員 40名

観音菩薩には様々な形態が存在しますが、複数の顔や手を持つ観音（変化観音）は、密教の時代になってから成立しました。本講座では、古代インド語で記された儀式のマニュアルである『サーダナ・マーラー』に基づいて、インドにおける変化観音の姿や伝承について学びます。

日程　第１回 9/7 (金) 13:20～14:50　第２回 9/7 (金) 15:00～16:30

講座⑦ 《テーマ》鎌倉時代の南都仏教と行基信仰

講師 坂口 太郎　定員 40名

天平時代の僧・行基は、東大寺の大仏造立に大きく尽力したことで知られています。行基を考える上では、生前の活動もさることながら、死後の行基に対する信仰も見逃せません。
とくに、今回の講座では、鎌倉時代の南都仏教を代表した名僧たちの行基信仰に焦点をあて、関係史料の読解に重きを置きつつ考えてみたいと思います。

日程　第１回 9/8 (土) 11:00～12:30　第２回 9/8 (土) 13:20～14:50

講座⑧ 《テーマ》仏教考古学入門 －高野山の石塔を中心として－

講師 木下 浩良　定員 40名

物質資料を考古学資料に位置づけして、そこから見えてくる文献史料だけでは分からなかった史的実証を探ります。先ず、仏教考古学が対象とする資料とは何か。また仏教考古学と一般に言う考古学との違いは何なのか担当者の考えをご提示して、具体的な事例を高野山の石塔から挙げていきます。さらには、石塔調査法について概略を説明します。

日程　第１回 9/19 (水) 13:20～14:50　第２回 9/19 (水) 15:00～16:30

《お問い合わせ・お申し込み先》
※お問い合わせ・お申し込みは7月13日（金）から受付開始

高野山大学
難波サテライト 連続講座係

〒556－0011 大阪市浪速区難波中1-10-4 南海野村ビル７階
TEL 06-4301-7843／FAX 06-4301-7893
E-mail nanba-s@koyasan-u.ac.jp　http://www.koyasan-u.ac.jp

お申し込み～受講の手順

①郵送または高野山大学HPよりお申し込みください。

本チラシの連続講座申込書を切り取り、必要事項をご記入のうえ、封筒に入れ、申し込み先宛で郵送していただくか、本学のホームページにアクセスし、高野山大学連続講座の申込フォームに必要事項をご入力いただき、送信してください。

高野山大学HP http://www.koyasan-u.ac.jp

高野山大学　検索

②受講票をお送りします。

お申し込み確認後、本学より受講票を発送します。当日は受講票を必ずお持ちください。

③受講料は各講座参加時にお支払いください。

当日、受付にて受講票を確認させていただきます。受講料は受付にてお支払いをお願いします。

（キリトリ線）

連続講座参加申込書 ご参加ご希望の方は、下欄に必要事項をご記入の上、郵送してください。

フリガナ	
ご芳名	
ご住所	〒　　－
電話番号	自宅・会社・携帯
メールアドレス	自宅・会社・携帯
以前の連続講座の修了証をお持ちの方は、右欄に☑印をつけてください。	□

◎上記講義テーマ・日時をご確認の上、受講ご希望の回へ○印をつけてください。

講座①	
講座②	
講座③	
講座④	
講座⑤	
講座⑥	
講座⑦	
講座⑧	

※FAXでのお申し込みは、送受信のトラブル防止のため、受付いたしません。ご了承ください。